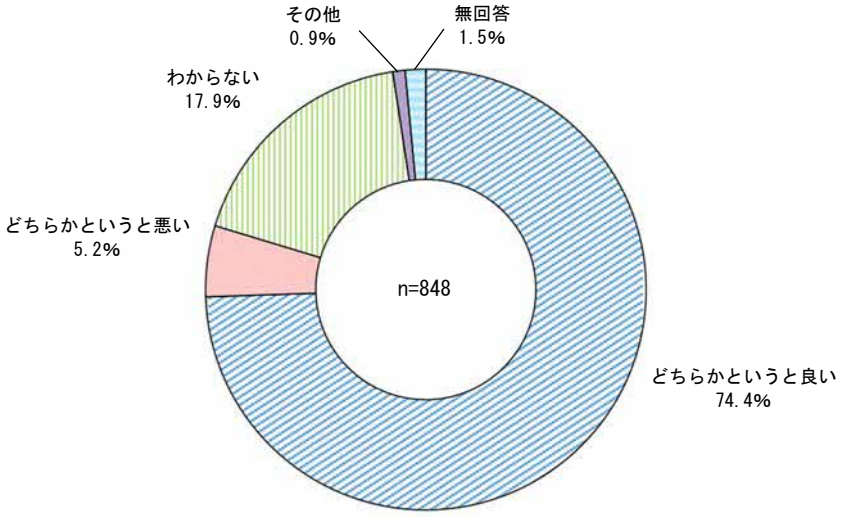
7 農業・農村の振興について

問1 あなたは、本道の農業・農村に対してどのようなイメージをお持ちですか。
次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「どちらかというと良い」（74.4%）と答えた方の割合が最も高く、次いで「わからない」（17.9%）、「どちらかというと悪い」（5.2%）の順となっている。

【圏域別】

「どちらかというと良い」については、道南連携地域（81.2%）が最も割合が高く、次いで十勝連携地域（79.6%）となっている。「わからない」については、釧路・根室連携地域（20.4%）が最も割合が高く、次いで道央広域連携地域（19.2%）となっている。

【人口規模別】

「どちらかというと良い」については、人口 10 万人以上の市（76.9%）が最も割合が高く、次いで人口 10 万人未満の市(75.7%)となっている。「わからない」については、人口 10 万人未満の市(20.9%)が最も割合が高く、次いで町村部（18.8%）となっている。

【性別】

「どちらかというと良い」については、男性 74.5%、女性 74.1%となっており、「わからない」については、男性 16.1%、女性 19.6%となっている。

【年代別】

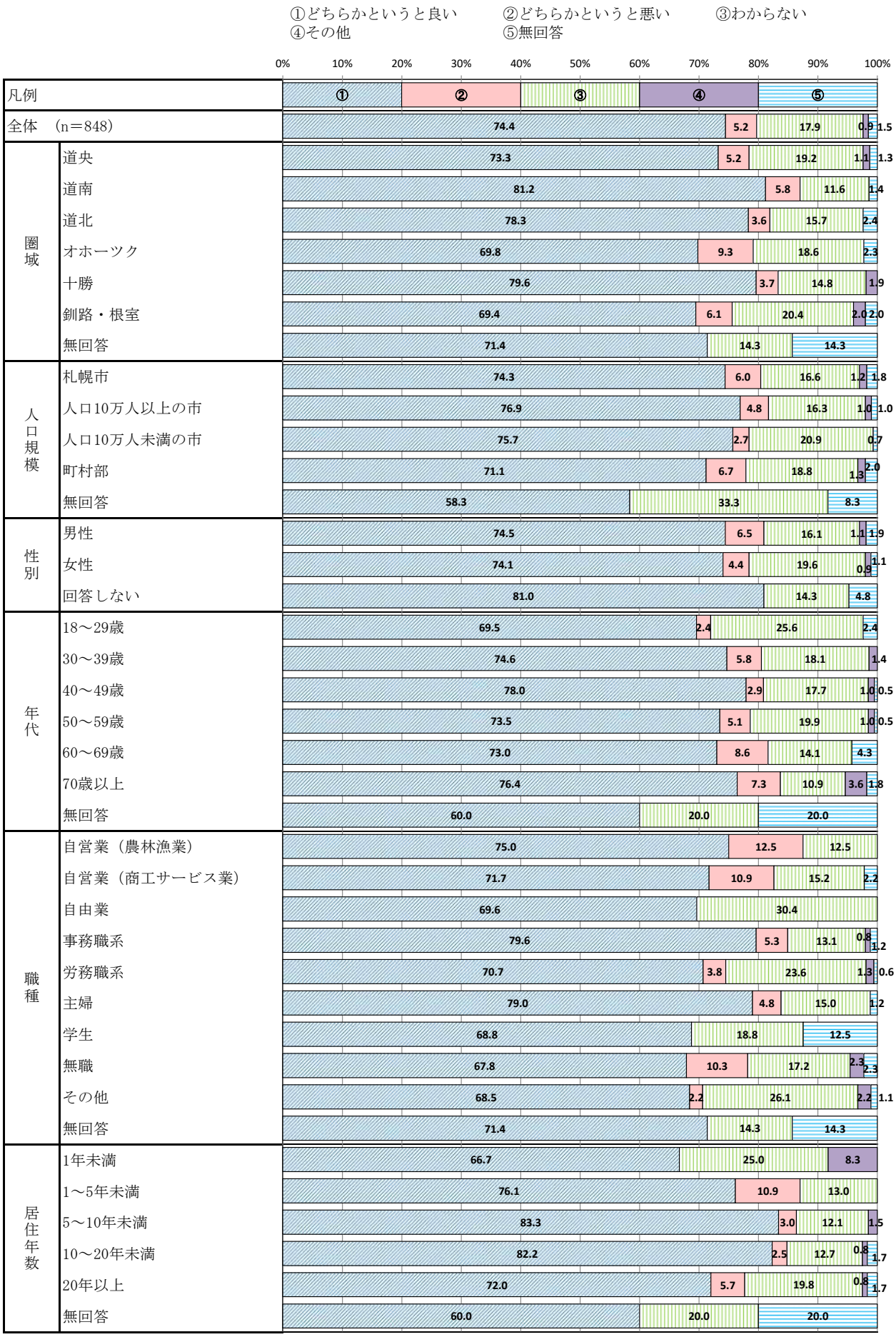
「どちらかというと良い」については、40～49 歳（78.0%）が最も割合が高く、次いで 70 歳以上（76.4%）となっている。「わからない」については、18～29 歳（25.6%）が最も割合が高く、次いで 50～59 歳（19.9%）となっている。

【職種別】

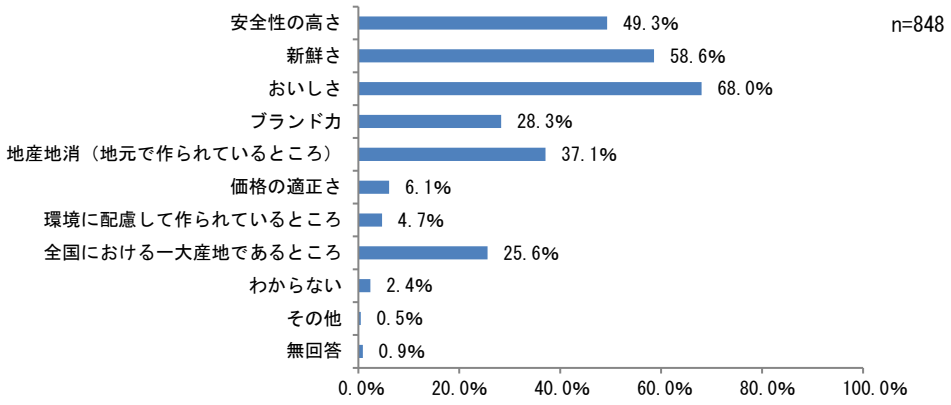
「どちらかというと良い」については、事務職系（79.6%）が最も割合が高く、次いで主婦（79.0%）となっている。「わからない」については、自由業(30.4%)が最も割合が高く、次いでその他(26.1%)となっている。

【居住年数別】

「どちらかというと良い」については、5～10 年未満（83.3%）が最も割合が高く、次いで 10～20 年未満（82.2%）となっている。「わからない」については、1 年未満（25.0%）が最も割合が高く、次いで 20 年以上（19.8%）となっている。


①どちらかというと良い
②どちらかというと悪い
③わからない
④その他
⑤無回答
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
凡例
①
②
③
④
⑤
全体 (n=848) 74.4 5.2 17.9 0.9 1.5
圏域
道央 73.3 5.2 19.2 1.1 1.3
道南 81.2 5.8 11.6 1.4
道北 78.3 3.6 15.7 2.4
オホーツク 69.8 9.3 18.6 2.3
十勝 79.6 3.7 14.8 1.9
釧路・根室 69.4 6.1 20.4 2.0 2.0
無回答 71.4 14.3 14.3
人口規模
札幌市 74.3 6.0 16.6 1.2 1.8
人口10万人以上の市 76.9 4.8 16.3 1.0 1.0
人口10万人未満の市 75.7 2.7 20.9 0.7
町村部 71.1 6.7 18.8 1.3 2.0
無回答 58.3 33.3 8.3
性別
男性 74.5 6.5 16.1 1.1 1.9
女性 74.1 4.4 19.6 0.9 1.1
回答しない 81.0 14.3 4.8
年代
18～29歳 69.5 2.4 25.6 2.4
30～39歳 74.6 5.8 18.1 1.4
40～49歳 78.0 2.9 17.7 1.0 0.5
50～59歳 73.5 5.1 19.9 1.0 0.5
60～69歳 73.0 8.6 14.1 4.3
70歳以上 76.4 7.3 10.9 3.6 1.8
無回答 60.0 20.0 20.0
職種
自営業（農林漁業） 75.0 12.5 12.5
自営業（商工サービス業） 71.7 10.9 15.2 2.2
自由業 69.6 30.4
事務職系 79.6 5.3 13.1 0.8 1.2
労務職系 70.7 3.8 23.6 1.3 0.6
主婦 79.0 4.8 15.0 1.2
学生 68.8 18.8 12.5
無職 67.8 10.3 17.2 2.3 2.3
その他 68.5 2.2 26.1 2.2 1.1
無回答 71.4 14.3 14.3
居住年数
1年未満 66.7 25.0 8.3
1～5年未満 76.1 10.9 13.0
5～10年未満 83.3 3.0 12.1 1.5
10～20年未満 82.2 2.5 12.7 0.8 1.7
20年以上 72.0 5.7 19.8 0.8 1.7
無回答 60.0 20.0 20.0

問2 あなたは、北海道の農産物に対して、どういったところが強みや魅力だと思われますか。
次の中から3つまでお選びください。



【全体】

「おいしさ」（68.0%）と答えた方の割合が最も高く、次いで「新鮮さ」（58.6%）、「安全性の高さ」（49.3%）の順となっている。

【圏域別】

「おいしさ」については、道北連携地域（77.1%）が最も割合が高く、次いで十勝連携地域（74.1%）となっている。「新鮮さ」については、釧路・根室連携地域（63.3%）が最も割合が高く、次いでオホーツク連携地域（60.5%）となっている。

【人口規模別】

「おいしさ」については、人口 10 万人以上の市（74.0%）が最も割合が高く、次いで人口 10 万人未満の市（68.9%）となっている。「新鮮さ」については、人口 10 万人未満の市（60.1%）が最も割合が高く、次いで人口 10 万人以上の市（59.6%）となっている。

【性別】

「おいしさ」については、男性 63.7%、女性 72.3%となっており、「新鮮さ」については、男性 53.5%、女性 63.3%となっている。

【年代別】

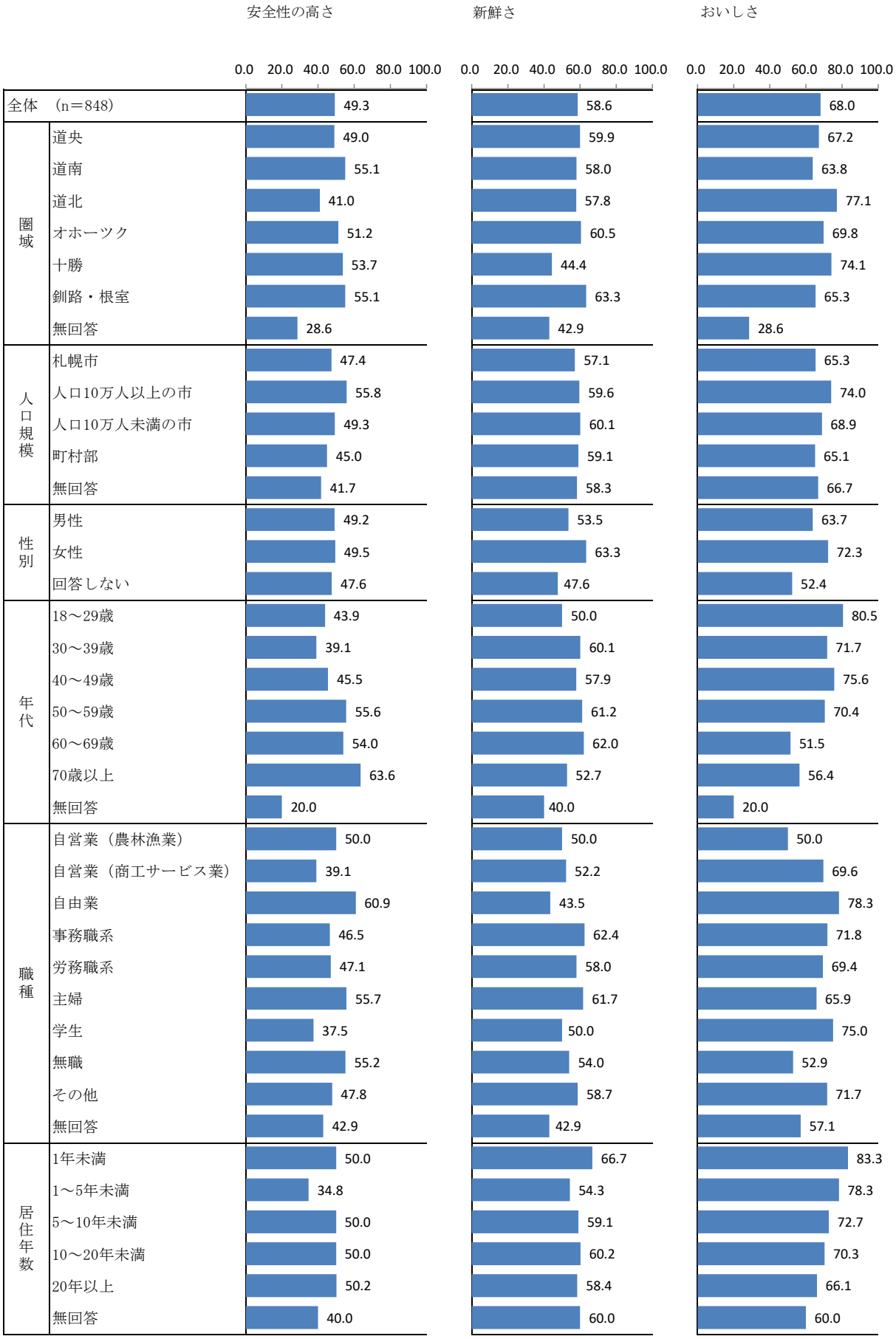
「おいしさ」については、18～29 歳（80.5%）が最も割合が高く、次いで 40～49 歳（75.6%）となっている。「新鮮さ」については、60～69 歳（62.0%）が最も割合が高く、次いで 50～59 歳（61.2%）となっている。

【職種別】

「おいしさ」については、自由業（78.3%）が最も割合が高く、次いで学生（75.0%）となっている。「新鮮さ」については、事務職系（62.4%）が最も割合が高く、次いで主婦（61.7%）となっている。

【居住年数別】

「おいしさ」については、1 年未満（83.3%）が最も割合が高く、次いで 1～5 年未満（78.3%）となっている。「新鮮さ」については、1 年未満（66.7%）が最も割合が高く、次いで 10～20 年未満（60.2%）となっている。

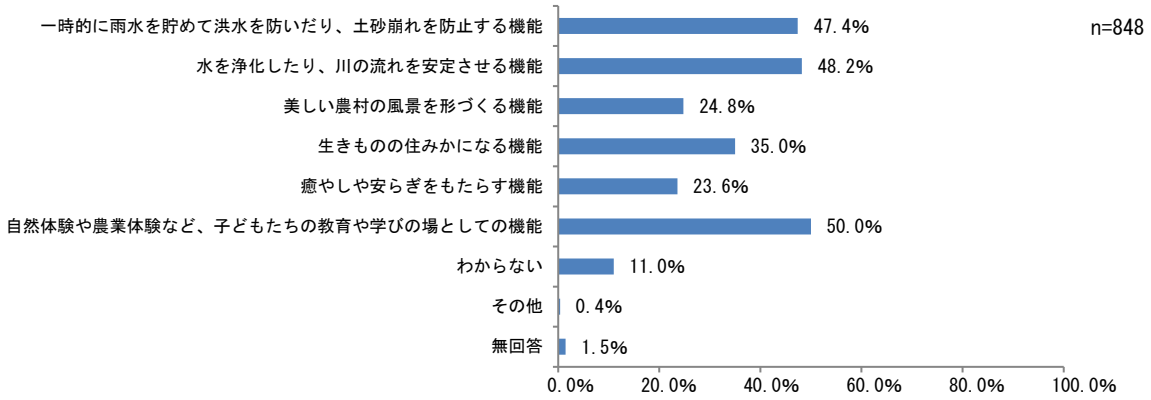

安全性の高さ
新鮮さ
おいしさ
0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0
全体 (n=848) 49.3 58.6 68.0
圏域
道央 49.0 59.9 67.2
道南 55.1 58.0 63.8
道北 41.0 57.8 77.1
オホーツク 51.2 60.5 69.8
十勝 53.7 44.4 74.1
釧路・根室 55.1 63.3 65.3
無回答 28.6 42.9 28.6
人口規模
札幌市 47.4 57.1 65.3
人口10万人以上の市 55.8 59.6 74.0
人口10万人未満の市 49.3 60.1 68.9
町村部 45.0 59.1 65.1
無回答 41.7 58.3 66.7
性別
男性 49.2 53.5 63.7
女性 49.5 63.3 72.3
回答しない 47.6 47.6 52.4
年代
18～29歳 43.9 50.0 80.5
30～39歳 39.1 60.1 71.7
40～49歳 45.5 57.9 75.6
50～59歳 55.6 61.2 70.4
60～69歳 54.0 62.0 51.5
70歳以上 63.6 52.7 56.4
無回答 20.0 40.0 20.0
職種
自営業（農林漁業） 50.0 50.0 50.0
自営業（商工サービス業） 39.1 52.2 69.6
自由業 60.9 43.5 78.3
事務職系 46.5 62.4 71.8
労務職系 47.1 58.0 69.4
主婦 55.7 61.7 65.9
学生 37.5 50.0 75.0
無職 55.2 54.0 52.9
その他 47.8 58.7 71.7
無回答 42.9 42.9 57.1
居住年数
1年未満 50.0 66.7 83.3
1～5年未満 34.8 54.3 78.3
5～10年未満 50.0 59.1 72.7
10～20年未満 50.0 60.2 70.3
20年以上 50.2 58.4 66.1
無回答 40.0 60.0 60.0

		ブランド力	地産地消（地元で作られているところ）	価格の適正さ
全体	（n＝848）	28.3	37.1	6.1
圏域	道央	28.7	36.8	6.4
	道南	31.9	31.9	4.3
	道北	25.3	38.6	7.2
	オホーツク	23.3	44.2	7.0
	十勝	38.9	42.6	7.4
	釧路・根室	18.4	36.7	2.0
	無回答	14.3	14.3	0.0
人口規模	札幌市	32.9	36.0	7.3
	人口10万人以上の市	25.5	38.9	5.8
	人口10万人未満の市	23.6	37.8	6.1
	町村部	28.9	38.3	4.0
	無回答	0.0	16.7	8.3
性別	男性	34.7	29.6	8.6
	女性	23.1	43.1	4.4
	回答しない	28.6	42.9	0.0
年代	18～29歳	39.0	34.1	7.3
	30～39歳	32.6	33.3	2.2
	40～49歳	31.6	38.3	5.3
	50～59歳	24.5	35.7	7.7
	60～69歳	21.5	39.3	8.0
	70歳以上	23.6	47.3	7.3
	無回答	20.0	20.0	0.0
職種	自営業（農林漁業）	37.5	50.0	0.0
	自営業（商工サービス業）	39.1	32.6	2.2
	自由業	34.8	26.1	0.0
	事務職系	31.0	35.9	4.5
	労務職系	33.1	32.5	8.9
	主婦	18.0	51.5	6.6
	学生	37.5	18.8	12.5
	無職	19.5	39.1	9.2
	その他	31.5	29.3	4.3
	無回答	14.3	14.3	14.3
居住年数	1年未満	25.0	33.3	0.0
	1～5年未満	30.4	34.8	4.3
	5～10年未満	27.3	37.9	4.5
	10～20年未満	32.2	39.8	8.5
	20年以上	27.8	36.8	6.2
	無回答	0.0	40.0	0.0

		環境に配慮して作られているところ	全国における一大産地であるところ	わからない
全体	(n＝848)	4.7	25.6	2.4
圏域	道央	4.1	26.7	2.6
	道南	2.9	21.7	2.9
	道北	7.2	19.3	2.4
	オホーツク	2.3	18.6	0.0
	十勝	7.4	27.8	0.0
	釧路・根室	10.2	32.7	0.0
	無回答	0.0	28.6	28.6
人口規模	札幌市	4.5	27.5	2.7
	人口10万人以上の市	7.2	21.6	1.0
	人口10万人未満の市	2.0	25.7	2.7
	町村部	4.7	28.2	2.0
	無回答	0.0	8.3	16.7
性別	男性	5.1	31.7	1.9
	女性	4.2	20.4	2.4
	回答しない	9.5	28.6	9.5
年代	18～29歳	3.7	29.3	0.0
	30～39歳	5.1	26.8	6.5
	40～49歳	4.3	20.6	2.4
	50～59歳	3.6	26.5	1.0
	60～69歳	6.1	25.2	1.8
	70歳以上	7.3	32.7	0.0
	無回答	0.0	40.0	20.0
職種	自営業（農林漁業）	25.0	37.5	0.0
	自営業（商工サービス業）	0.0	26.1	2.2
	自由業	4.3	30.4	0.0
	事務職系	3.3	25.3	1.6
	労務職系	2.5	31.2	2.5
	主婦	6.6	18.6	3.0
	学生	0.0	31.3	0.0
	無職	10.3	28.7	3.4
	その他	5.4	21.7	3.3
	無回答	0.0	42.9	0.0
居住年数	1年未満	0.0	33.3	8.3
	1～5年未満	6.5	30.4	2.2
	5～10年未満	9.1	16.7	1.5
	10～20年未満	0.8	24.6	2.5
	20年以上	5.0	26.3	2.3
	無回答	0.0	20.0	0.0

		その他	無回答
全体	(n＝848)	0.5	0.9
圏域	道央	0.7	0.6
	道南	0.0	1.4
	道北	0.0	2.4
	オホーツク	0.0	2.3
	十勝	0.0	0.0
	釧路・根室	0.0	0.0
	無回答	0.0	14.3
人口規模	札幌市	0.9	0.6
	人口10万人以上の市	0.0	1.0
	人口10万人未満の市	0.7	0.0
	町村部	0.0	2.0
	無回答	0.0	8.3
性別	男性	0.5	1.3
	女性	0.4	0.4
	回答しない	0.0	4.8
年代	18～29歳	1.2	1.2
	30～39歳	0.0	0.0
	40～49歳	0.0	0.5
	50～59歳	1.0	0.0
	60～69歳	0.0	3.1
	70歳以上	1.8	0.0
	無回答	0.0	20.0
職種	自営業（農林漁業）	0.0	0.0
	自営業（商工サービス業）	2.2	0.0
	自由業	0.0	0.0
	事務職系	0.4	0.8
	労務職系	0.0	0.6
	主婦	0.0	0.0
	学生	0.0	6.3
	無職	0.0	2.3
	その他	2.2	1.1
	無回答	0.0	14.3
居住年数	1年未満	0.0	0.0
	1～5年未満	0.0	0.0
	5～10年未満	3.0	0.0
	10～20年未満	0.0	0.8
	20年以上	0.3	1.0
	無回答	0.0	20.0

問3 農業・農村は、食料の生産以外にも、災害の防止や豊かな農村風景の形成といった様々な機能を有しています。あなたは、こうした「農業・農村の多面的機能」の中で、どの機能が重要であると思いますか。次の中から3つまでお選びください。



【全体】

「自然体験や農業体験など、子どもたちの教育や学びの場としての機能」（50.0%）と答えた方の割合が最も高く、次いで「水を浄化したり、川の流れを安定させる機能」（48.2%）、「一時的に雨水を貯めて洪水を防いだり、土砂崩れを防止する機能」（47.4%）の順となっている。

【圏域別】

「自然体験や農業体験など、子どもたちの教育や学びの場としての機能」については、道南連携地域（58.0%）が最も割合が高く、次いで釧路・根室連携地域（53.1%）となっている。「水を浄化したり、川の流れを安定させる機能」については、釧路・根室連携地域（55.1%）が最も割合が高く、次いで道央広域連携地域（49.0%）となっている。

【人口規模別】

「自然体験や農業体験など、子どもたちの教育や学びの場としての機能」については、町村部（51.7%）が最も割合が高く、次いで札幌市（51.1%）となっている。「水を浄化したり、川の流れを安定させる機能」については、人口 10 万人未満の市（50.7%）が最も割合が高く、次いで町村部（49.0%）となっている。

【性別】

「自然体験や農業体験など、子どもたちの教育や学びの場としての機能」については、男性 49.5%、女性 50.5%となっており、「水を浄化したり、川の流れを安定させる機能」については、男性 46.0%、女性 50.3%となっている。

【年代別】

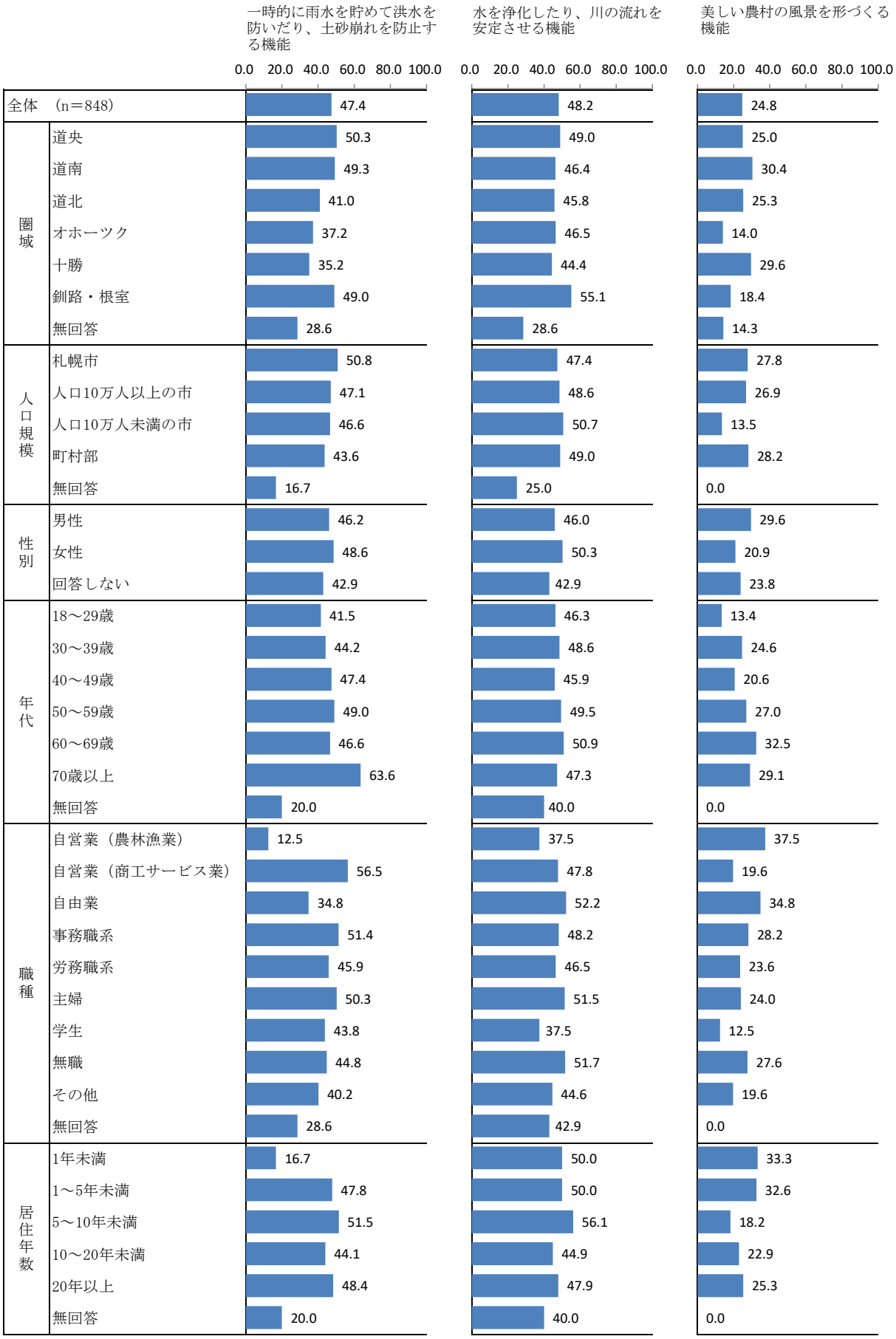
「自然体験や農業体験など、子どもたちの教育や学びの場としての機能」については、70 歳以上（60.0%）が最も割合が高く、次いで 40～49 歳（53.1%）となっている。「水を浄化したり、川の流れを安定させる機能」については、60～69 歳（50.9%）が最も割合が高く、次いで 50～59 歳（49.5%）となっている。

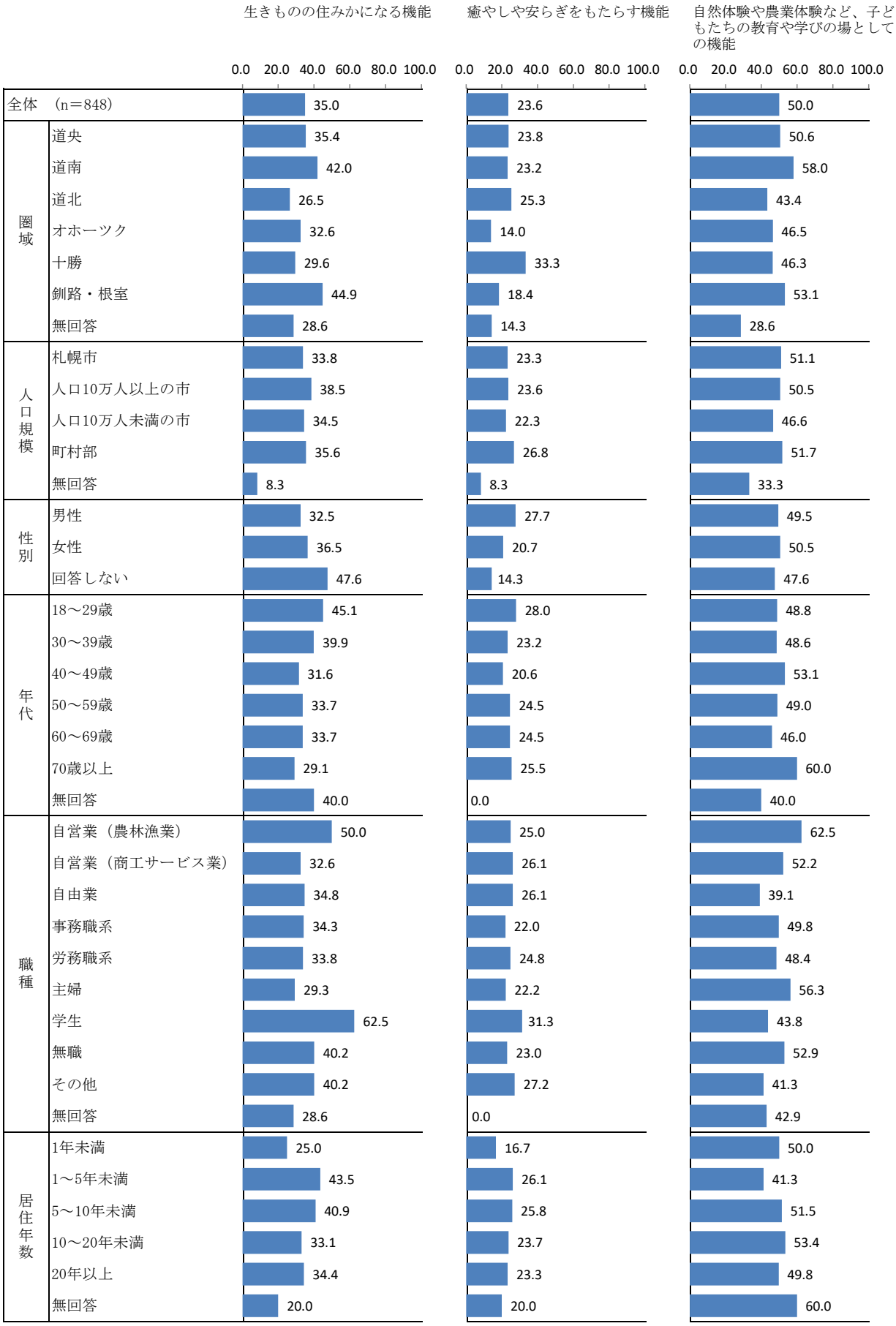
【職種別】

「自然体験や農業体験など、子どもたちの教育や学びの場としての機能」については、主婦（56.3%）が最も割合が高く、次いで無職（52.9%）となっている。「水を浄化したり、川の流れを安定させる機能」については、自由業（52.2%）が最も割合が高く、次いで無職（51.7%）となっている。

【居住年数別】

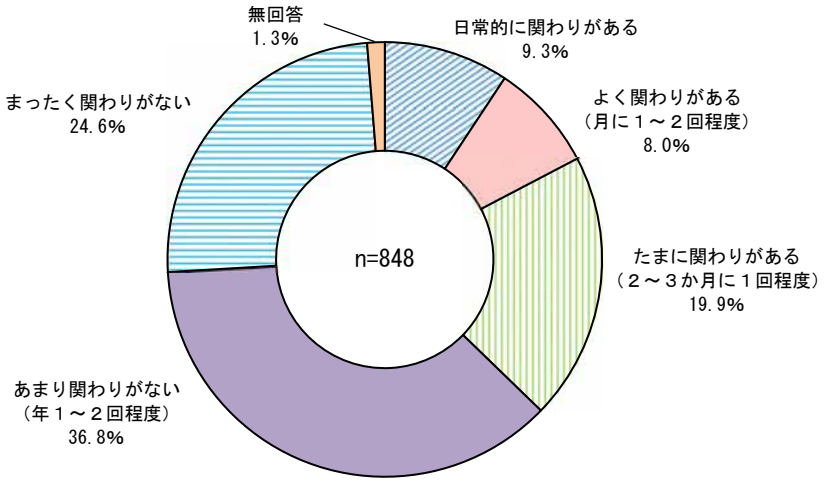
「自然体験や農業体験など、子どもたちの教育や学びの場としての機能」については、10～20 年未満（53.4%）が最も割合が高く、次いで 5～10 年未満（51.5%）となっている。「水を浄化したり、川の流れを安定させる機能」については、5～10 年未満（56.1%）が最も割合が高く、次いで 1 年未満と 1～5 年未満が同率（50.0%）となっている。


一時的に雨水を貯めて洪水を防いだり、土砂崩れを防止する機能
水を浄化したり、川の流れを安定させる機能
美しい農村の風景を形づくる機能
0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0
全体 (n=848) 47.4 48.2 24.8
圏域
道央 50.3 49.0 25.0
道南 49.3 46.4 30.4
道北 41.0 45.8 25.3
オホーツク 37.2 46.5 14.0
十勝 35.2 44.4 29.6
釧路・根室 49.0 55.1 18.4
無回答 28.6 28.6 14.3
人口規模
札幌市 50.8 47.4 27.8
人口10万人以上の市 47.1 48.6 26.9
人口10万人未満の市 46.6 50.7 13.5
町村部 43.6 49.0 28.2
無回答 16.7 25.0 0.0
性別
男性 46.2 46.0 29.6
女性 48.6 50.3 20.9
回答しない 42.9 42.9 23.8
年代
18～29歳 41.5 46.3 13.4
30～39歳 44.2 48.6 24.6
40～49歳 47.4 45.9 20.6
50～59歳 49.0 49.5 27.0
60～69歳 46.6 50.9 32.5
70歳以上 63.6 47.3 29.1
無回答 20.0 40.0 0.0
職種
自営業（農林漁業） 12.5 37.5 37.5
自営業（商工サービス業） 56.5 47.8 19.6
自由業 34.8 52.2 34.8
事務職系 51.4 48.2 28.2
労務職系 45.9 46.5 23.6
主婦 50.3 51.5 24.0
学生 43.8 37.5 12.5
無職 44.8 51.7 27.6
その他 40.2 44.6 19.6
無回答 28.6 42.9 0.0
居住年数
1年未満 16.7 50.0 33.3
1～5年未満 47.8 50.0 32.6
5～10年未満 51.5 56.1 18.2
10～20年未満 44.1 44.9 22.9
20年以上 48.4 47.9 25.3
無回答 20.0 40.0 0.0


生きものの住みかになる機能
癒やしや安らぎをもたらす機能
自然体験や農業体験など、子どもたちの教育や学びの場としての機能
0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0
全体 (n=848) 35.0 23.6 50.0
圏域
道央 35.4 23.8 50.6
道南 42.0 23.2 58.0
道北 26.5 25.3 43.4
オホーツク 32.6 14.0 46.5
十勝 29.6 33.3 46.3
釧路・根室 44.9 18.4 53.1
無回答 28.6 14.3 28.6
人口規模
札幌市 33.8 23.3 51.1
人口10万人以上の市 38.5 23.6 50.5
人口10万人未満の市 34.5 22.3 46.6
町村部 35.6 26.8 51.7
無回答 8.3 8.3 33.3
性別
男性 32.5 27.7 49.5
女性 36.5 20.7 50.5
回答しない 47.6 14.3 47.6
年代
18～29歳 45.1 28.0 48.8
30～39歳 39.9 23.2 48.6
40～49歳 31.6 20.6 53.1
50～59歳 33.7 24.5 49.0
60～69歳 33.7 24.5 46.0
70歳以上 29.1 25.5 60.0
無回答 40.0 0.0 40.0
職種
自営業（農林漁業） 50.0 25.0 62.5
自営業（商工サービス業） 32.6 26.1 52.2
自由業 34.8 26.1 39.1
事務職系 34.3 22.0 49.8
労務職系 33.8 24.8 48.4
主婦 29.3 22.2 56.3
学生 62.5 31.3 43.8
無職 40.2 23.0 52.9
その他 40.2 27.2 41.3
無回答 28.6 0.0 42.9
居住年数
1年未満 25.0 16.7 50.0
1～5年未満 43.5 26.1 41.3
5～10年未満 40.9 25.8 51.5
10～20年未満 33.1 23.7 53.4
20年以上 34.4 23.3 49.8
無回答 20.0 20.0 60.0

		わからない	その他	無回答
全体	(n＝848)	11.0	0.4	1.5
圏域	道央	10.1	0.2	1.1
	道南	4.3	0.0	1.4
	道北	15.7	2.4	2.4
	オホーツク	23.3	0.0	2.3
	十勝	14.8	0.0	0.0
	釧路・根室	4.1	0.0	4.1
	無回答	28.6	0.0	14.3
人口規模	札幌市	9.7	0.3	0.9
	人口10万人以上の市	10.6	1.0	1.4
	人口10万人未満の市	16.9	0.0	0.7
	町村部	6.7	0.0	2.0
	無回答	33.3	0.0	25.0
性別	男性	7.8	0.5	2.4
	女性	13.4	0.2	0.7
	回答しない	14.3	0.0	4.8
年代	18～29歳	13.4	0.0	1.2
	30～39歳	15.2	0.0	0.0
	40～49歳	14.8	0.0	1.0
	50～59歳	9.7	1.5	0.0
	60～69歳	4.3	0.0	5.5
	70歳以上	5.5	0.0	0.0
	無回答	20.0	0.0	20.0
職種	自営業（農林漁業）	0.0	0.0	0.0
	自営業（商工サービス業）	8.7	2.2	2.2
	自由業	13.0	0.0	0.0
	事務職系	10.2	0.4	0.8
	労務職系	12.1	0.6	0.6
	主婦	10.8	0.0	0.6
	学生	12.5	0.0	6.3
	無職	6.9	0.0	3.4
	その他	17.4	0.0	1.1
	無回答	0.0	0.0	42.9
居住年数	1年未満	25.0	0.0	0.0
	1～5年未満	10.9	0.0	0.0
	5～10年未満	9.1	0.0	0.0
	10～20年未満	15.3	0.0	0.8
	20年以上	10.1	0.5	1.8
	無回答	0.0	0.0	20.0

問4 あなたの生活の中で、農村でレジャー活動を楽しんだり、農家から直接農産物を購入する（スーパー等での購入は除きます）など、農業や農村と関わる機会はどのくらいありますか。
次の中から1つだけお選びください。



【全体】

「あまり関わりがない（年１～２回程度）」（36.8%）と答えた方の割合が最も高く、次いで「まったく関わりがない」（24.6%）、「たまに関わりがある（２～３か月に１回程度）」（19.9%）の順となっている。

【圏域別】

「あまり関わりがない（年１～２回程度）」については、道央広域連携地域（38.5%）が最も割合が高く、次いで道北連携地域（37.3%）となっている。「まったく関わりがない」については、釧路・根室連携地域（28.6%）が最も割合が高く、次いでオホーツク連携地域（27.9%）となっている。

【人口規模別】

「あまり関わりがない（年１～２回程度）」については、人口10万人未満の市（40.5%）が最も割合が高く、次いで札幌市（40.2%）となっている。「まったく関わりがない」については、札幌市（28.7%）が最も割合が高く、次いで人口10万人以上の市（25.0%）となっている。

【性別】

「あまり関わりがない（年１～２回程度）」については、男性36.8%、女性37.1%となっており、「まったく関わりがない」については、男性25.0%、女性24.0%となっている。

【年代別】

「あまり関わりがない（年１～２回程度）」については、50～59歳（40.3%）が最も割合が高く、次いで30～39歳（39.9%）となっている。「まったく関わりがない」については、18～29歳（36.6%）が最も割合が高く、次いで50～59歳（25.5%）となっている。

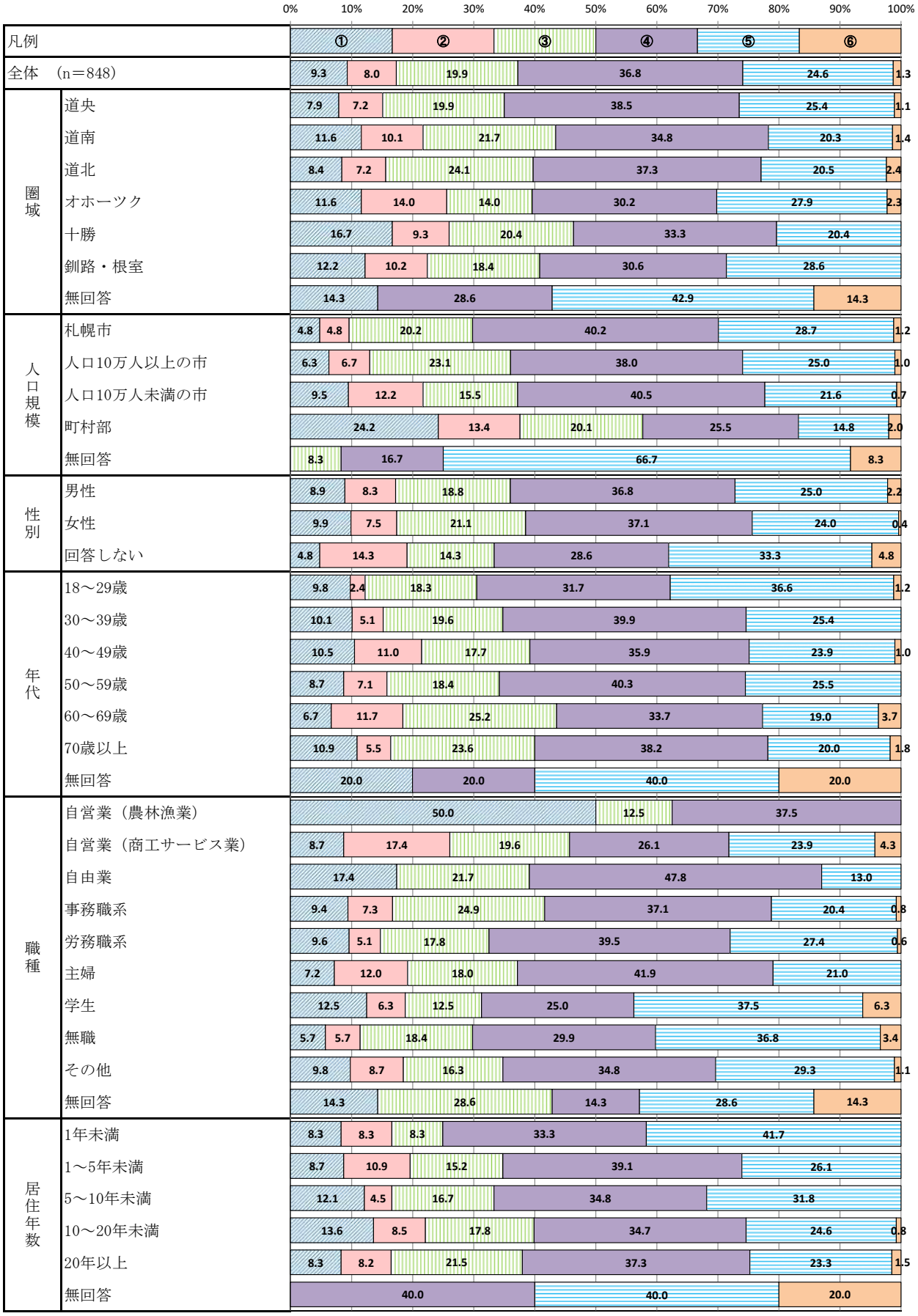
【職種別】

「あまり関わりがない（年１～２回程度）」については、自由業（47.8%）が最も割合が高く、次いで主婦（41.9%）となっている。「まったく関わりがない」については、学生（37.5%）が最も割合が高く、次いで無職（36.8%）となっている。

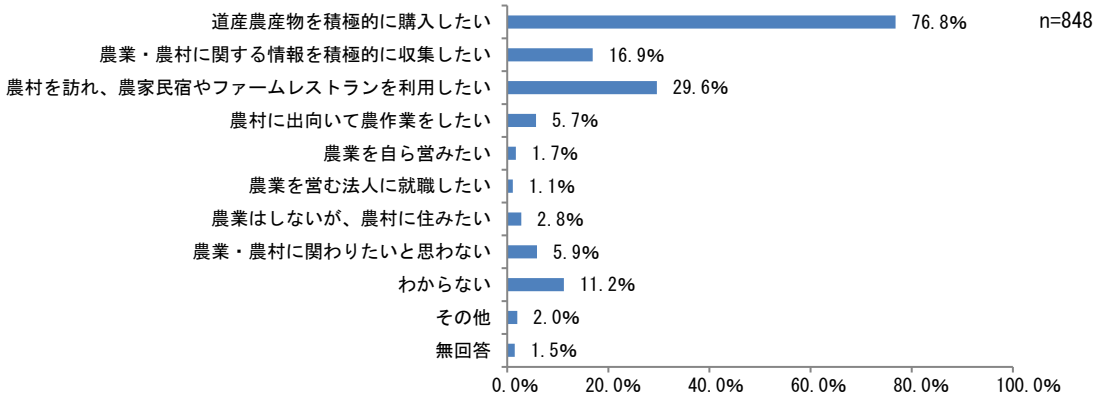
【居住年数別】

「あまり関わりがない（年１～２回程度）」については、1～5年未満（39.1%）が最も割合が高く、次いで20年以上（37.3%）となっている。「まったく関わりがない」については、1年未満（41.7%）が最も割合が高く、次いで5～10年未満（31.8%）となっている。

①日常的に関わりがある
②よく関わりがある（月に１～２回程度）
③たまに関わりがある（２～３か月に１回程度）
④あまり関わりがない（年１～２回程度）
⑤まったく関わりがない
⑥無回答



問5 あなたは、今後、本道の農業・農村とどのように関わっていきたいですか。
次の中から3つまでお選びください。



【全体】

「道産農産物を積極的に購入したい」（76.8%）と答えた方の割合が最も高く、次いで「農村を訪れ、農家民宿やファームレストランを利用したい」（29.6%）、「農業・農村に関する情報を積極的に収集したい」（16.9%）の順となっている。

【圏域別】

「道産農産物を積極的に購入したい」については、十勝連携地域（85.2%）が最も割合が高く、次いで道南連携地域（82.6%）となっている。「農村を訪れ、農家民宿やファームレストランを利用したい」については、道南連携地域（36.2%）が最も割合が高く、次いでオホーツク連携地域（32.6%）となっている。

【人口規模別】

「道産農産物を積極的に購入したい」については、人口 10 万人未満の市（81.8%）が最も割合が高く、次いで札幌市（78.2%）となっている。「農村を訪れ、農家民宿やファームレストランを利用したい」については、人口 10 万人以上の市（35.1%）が最も割合が高く、次いで札幌市（30.2%）となっている。

【性別】

「道産農産物を積極的に購入したい」については、男性 73.4%、女性 79.6%となっており、「農村を訪れ、農家民宿やファームレストランを利用したい」については、男性 24.7%、女性 33.4%となっている。

【年代別】

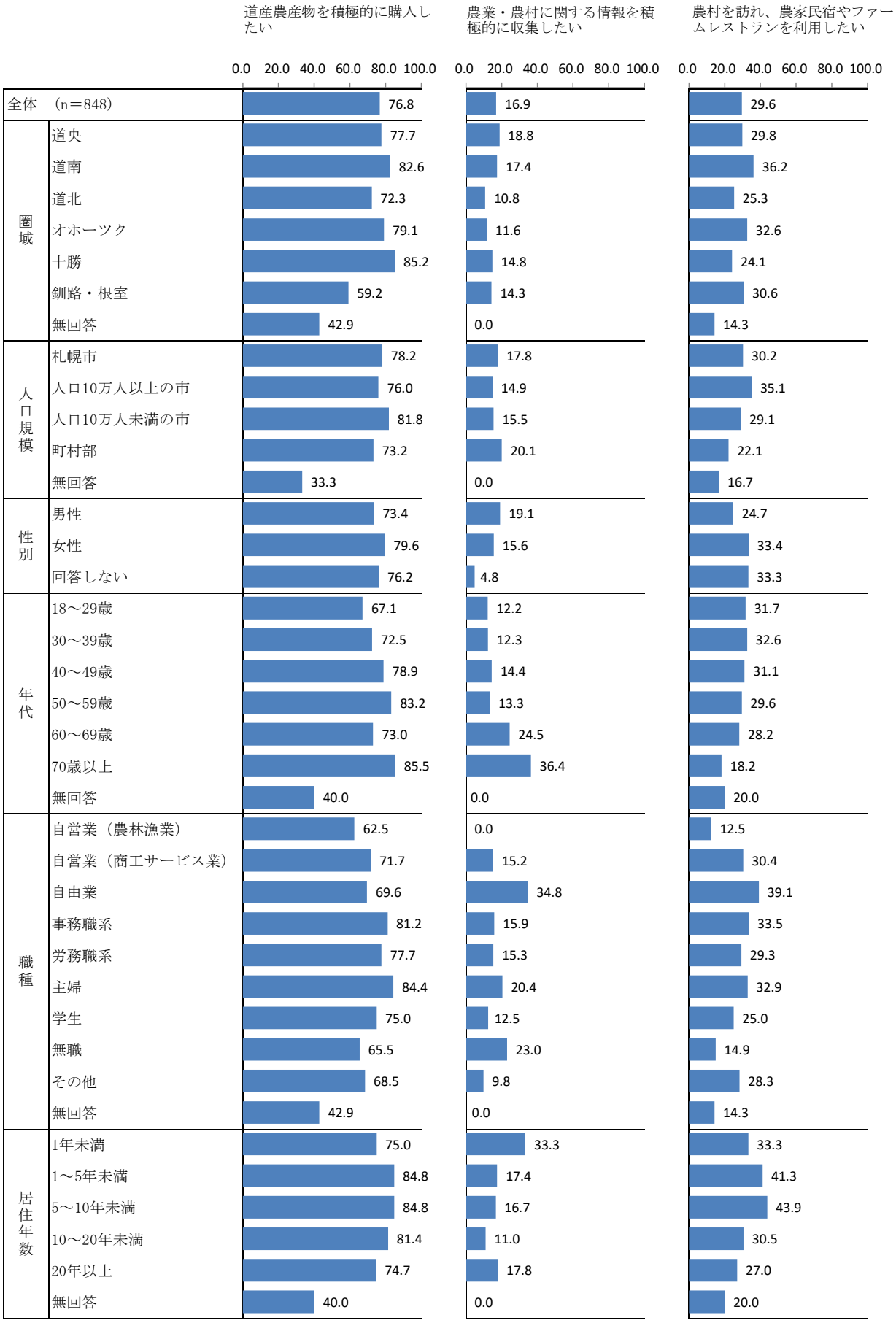
「道産農産物を積極的に購入したい」については、70 歳以上（85.5%）が最も割合が高く、次いで 50～59 歳（83.2%）となっている。「農村を訪れ、農家民宿やファームレストランを利用したい」については、30～39 歳（32.6%）が最も割合が高く、次いで 18～29 歳（31.7%）となっている。

【職種別】

「道産農産物を積極的に購入したい」については、主婦（84.4%）が最も割合が高く、次いで事務職系（81.2%）となっている。「農村を訪れ、農家民宿やファームレストランを利用したい」については、自由業（39.1%）が最も割合が高く、次いで事務職系（33.5%）となっている。

【居住年数別】

「道産農産物を積極的に購入したい」については、1～5 年未満と 5～10 年未満が同率（84.8%）で最も割合が高く、次いで 10～20 年未満（81.4%）となっている。「農村を訪れ、農家民宿やファームレストランを利用したい」については、5～10 年未満（43.9%）が最も割合が高く、次いで 1～5 年未満（41.3%）となっている。

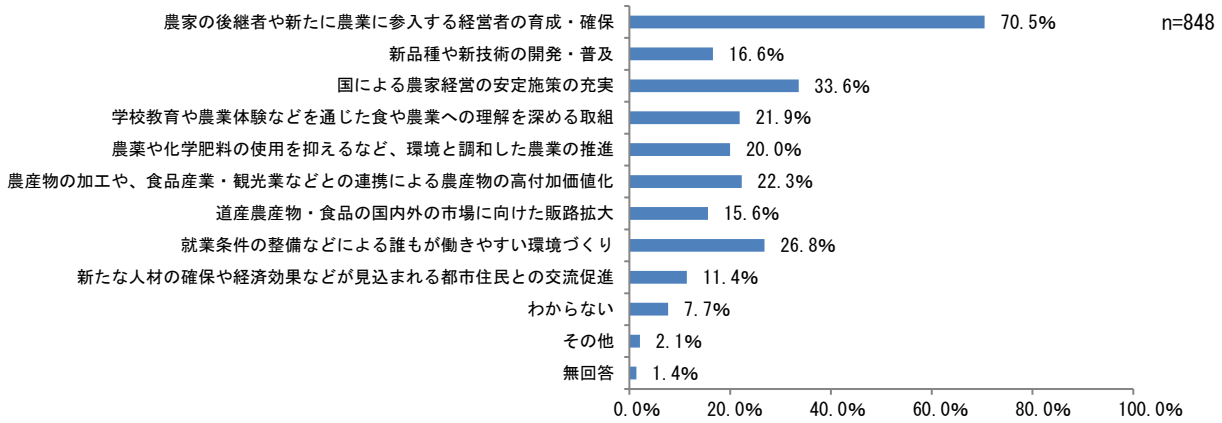

道産農産物を積極的に購入したい
農業・農村に関する情報を積極的に収集したい
農村を訪れ、農家民宿やファームレストランを利用したい
0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0
全体 (n=848) 76.8 16.9 29.6
圏域
道央 77.7 18.8 29.8
道南 82.6 17.4 36.2
道北 72.3 10.8 25.3
オホーツク 79.1 11.6 32.6
十勝 85.2 14.8 24.1
釧路・根室 59.2 14.3 30.6
無回答 42.9 0.0 14.3
人口規模
札幌市 78.2 17.8 30.2
人口10万人以上の市 76.0 14.9 35.1
人口10万人未満の市 81.8 15.5 29.1
町村部 73.2 20.1 22.1
無回答 33.3 0.0 16.7
性別
男性 73.4 19.1 24.7
女性 79.6 15.6 33.4
回答しない 76.2 4.8 33.3
年代
18～29歳 67.1 12.2 31.7
30～39歳 72.5 12.3 32.6
40～49歳 78.9 14.4 31.1
50～59歳 83.2 13.3 29.6
60～69歳 73.0 24.5 28.2
70歳以上 85.5 36.4 18.2
無回答 40.0 0.0 20.0
職種
自営業（農林漁業） 62.5 0.0 12.5
自営業（商工サービス業） 71.7 15.2 30.4
自由業 69.6 34.8 39.1
事務職系 81.2 15.9 33.5
労務職系 77.7 15.3 29.3
主婦 84.4 20.4 32.9
学生 75.0 12.5 25.0
無職 65.5 23.0 14.9
その他 68.5 9.8 28.3
無回答 42.9 0.0 14.3
居住年数
1年未満 75.0 33.3 33.3
1～5年未満 84.8 17.4 41.3
5～10年未満 84.8 16.7 43.9
10～20年未満 81.4 11.0 30.5
20年以上 74.7 17.8 27.0
無回答 40.0 0.0 20.0

		農村に出向いて農作業をしたい	農業を自ら営みたい	農業を営む法人に就職したい
全体	(n＝848)	5.7	1.7	1.1
圏域	道央	5.7	1.8	1.1
	道南	4.3	1.4	2.9
	道北	0.0	1.2	0.0
	オホーツク	11.6	2.3	0.0
	十勝	5.6	0.0	1.9
	釧路・根室	10.2	2.0	0.0
	無回答	14.3	0.0	0.0
人口規模	札幌市	6.6	1.2	1.5
	人口10万人以上の市	3.8	0.5	1.4
	人口10万人未満の市	6.8	2.7	0.0
	町村部	4.7	3.4	0.7
	無回答	8.3	0.0	0.0
性別	男性	4.6	2.4	0.5
	女性	6.6	1.1	1.5
	回答しない	4.8	0.0	0.0
年代	18～29歳	4.9	2.4	1.2
	30～39歳	14.5	0.7	3.6
	40～49歳	4.3	2.4	1.0
	50～59歳	4.6	1.5	0.0
	60～69歳	2.5	1.8	0.6
	70歳以上	1.8	0.0	0.0
	無回答	20.0	0.0	0.0
職種	自営業（農林漁業）	12.5	12.5	0.0
	自営業（商工サービス業）	6.5	2.2	0.0
	自由業	4.3	0.0	0.0
	事務職系	5.7	1.6	0.8
	労務職系	4.5	1.9	1.9
	主婦	6.6	0.6	1.2
	学生	6.3	6.3	6.3
	無職	4.6	1.1	1.1
	その他	5.4	2.2	0.0
	無回答	14.3	0.0	0.0
居住年数	1年未満	8.3	0.0	0.0
	1～5年未満	4.3	0.0	2.2
	5～10年未満	9.1	1.5	3.0
	10～20年未満	8.5	3.4	1.7
	20年以上	4.7	1.5	0.7
	無回答	20.0	0.0	0.0

		農業はしないが、農村に住みたい	農業・農村に関わりたいと思わない	わからない
全体	(n=848)	2.8	5.9	11.2
圏域	道央	2.9	5.0	10.9
	道南	5.8	5.8	5.8
	道北	2.4	9.6	13.3
	オホーツク	2.3	0.0	11.6
	十勝	1.9	5.6	7.4
	釧路・根室	0.0	16.3	18.4
	無回答	0.0	0.0	42.9
人口規模	札幌市	1.8	4.5	10.9
	人口10万人以上の市	3.8	8.7	13.0
	人口10万人未満の市	2.0	2.7	10.8
	町村部	4.0	8.1	7.4
	無回答	8.3	8.3	41.7
性別	男性	3.2	7.5	11.3
	女性	2.2	4.8	10.8
	回答しない	9.5	0.0	19.0
年代	18～29歳	2.4	8.5	12.2
	30～39歳	4.3	4.3	16.7
	40～49歳	1.0	5.7	10.5
	50～59歳	3.1	6.6	6.6
	60～69歳	3.7	6.1	12.9
	70歳以上	3.6	3.6	7.3
	無回答	0.0	0.0	40.0
職種	自営業（農林漁業）	0.0	0.0	12.5
	自営業（商工サービス業）	4.3	2.2	17.4
	自由業	4.3	4.3	17.4
	事務職系	2.4	6.9	6.5
	労務職系	2.5	7.0	12.1
	主婦	2.4	4.2	7.8
	学生	0.0	6.3	12.5
	無職	1.1	9.2	16.1
	その他	6.5	4.3	17.4
	無回答	0.0	0.0	28.6
居住年数	1年未満	0.0	8.3	8.3
	1～5年未満	0.0	4.3	4.3
	5～10年未満	3.0	3.0	10.6
	10～20年未満	3.4	2.5	11.9
	20年以上	3.0	6.8	11.6
	無回答	0.0	20.0	20.0

		その他	無回答
全体	(n＝848)	2.0	1.5
圏域	道央	2.0	1.5
	道南	1.4	1.4
	道北	4.8	2.4
	オホーツク	2.3	2.3
	十勝	0.0	0.0
	釧路・根室	0.0	0.0
	無回答	0.0	14.3
人口規模	札幌市	1.5	1.5
	人口10万人以上の市	1.4	1.0
	人口10万人未満の市	2.0	0.7
	町村部	4.0	2.0
	無回答	0.0	16.7
性別	男性	2.2	2.7
	女性	1.8	0.4
	回答しない	4.8	4.8
年代	18～29歳	1.2	1.2
	30～39歳	4.3	0.0
	40～49歳	2.4	1.4
	50～59歳	1.5	0.0
	60～69歳	0.6	4.3
	70歳以上	1.8	1.8
	無回答	0.0	20.0
職種	自営業（農林漁業）	12.5	0.0
	自営業（商工サービス業）	4.3	2.2
	自由業	0.0	0.0
	事務職系	2.0	0.8
	労務職系	1.9	1.3
	主婦	0.6	0.0
	学生	0.0	6.3
	無職	1.1	4.6
	その他	4.3	1.1
	無回答	0.0	28.6
居住年数	1年未満	0.0	0.0
	1～5年未満	2.2	0.0
	5～10年未満	3.0	0.0
	10～20年未満	0.0	0.8
	20年以上	2.3	1.8
	無回答	0.0	20.0

問6 あなたは、本道の農業が将来にわたって発展していくためには、どのような取組が大切だと思いますか。
次の中から3つまでお選びください。



【全体】

「農家の後継者や新たに農業に参入する経営者の育成・確保」（70.5%）と答えた方の割合が最も高く、次いで「国による農家経営の安定施策の充実」（33.6%）、「就業条件の整備などによる誰もが働きやすい環境づくり」（26.8%）の順となっている。

【圏域別】

「農家の後継者や新たに農業に参入する経営者の育成・確保」については、道北連携地域（75.9%）が最も割合が高く、次いで道南連携地域（73.9%）となっている。「国による農家経営の安定施策の充実」については、十勝連携地域（44.4%）が最も割合が高く、次いで道南連携地域（42.0%）となっている。

【人口規模別】

「農家の後継者や新たに農業に参入する経営者の育成・確保」については、町村部（73.8%）が最も割合が高く、次いで人口 10 万人以上の市（73.1%）となっている。「国による農家経営の安定施策の充実」については、人口 10 万人未満の市（35.8%）が最も割合が高く、次いで人口 10 万人以上の市（35.1%）となっている。

【性別】

「農家の後継者や新たに農業に参入する経営者の育成・確保」については、男性 71.8%、女性 70.1%となっており、「国による農家経営の安定施策の充実」については、男性 34.9%、女性 32.7%となっている。

【年代別】

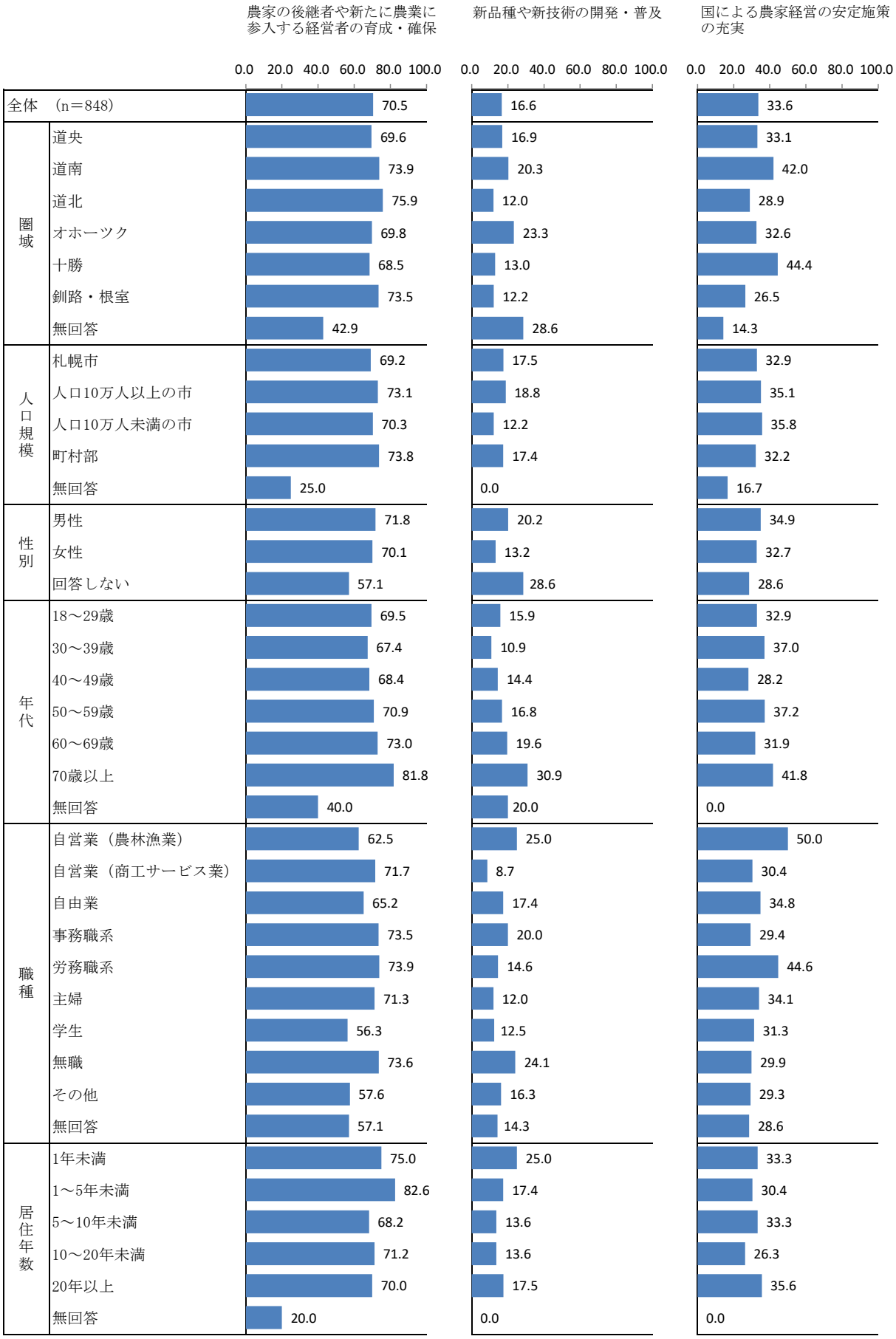
「農家の後継者や新たに農業に参入する経営者の育成・確保」については、70 歳以上（81.8%）が最も割合が高く、次いで 60～69 歳（73.0%）となっている。「国による農家経営の安定施策の充実」については、70 歳以上（41.8%）が最も割合が高く、次いで 50～59 歳（37.2%）となっている。

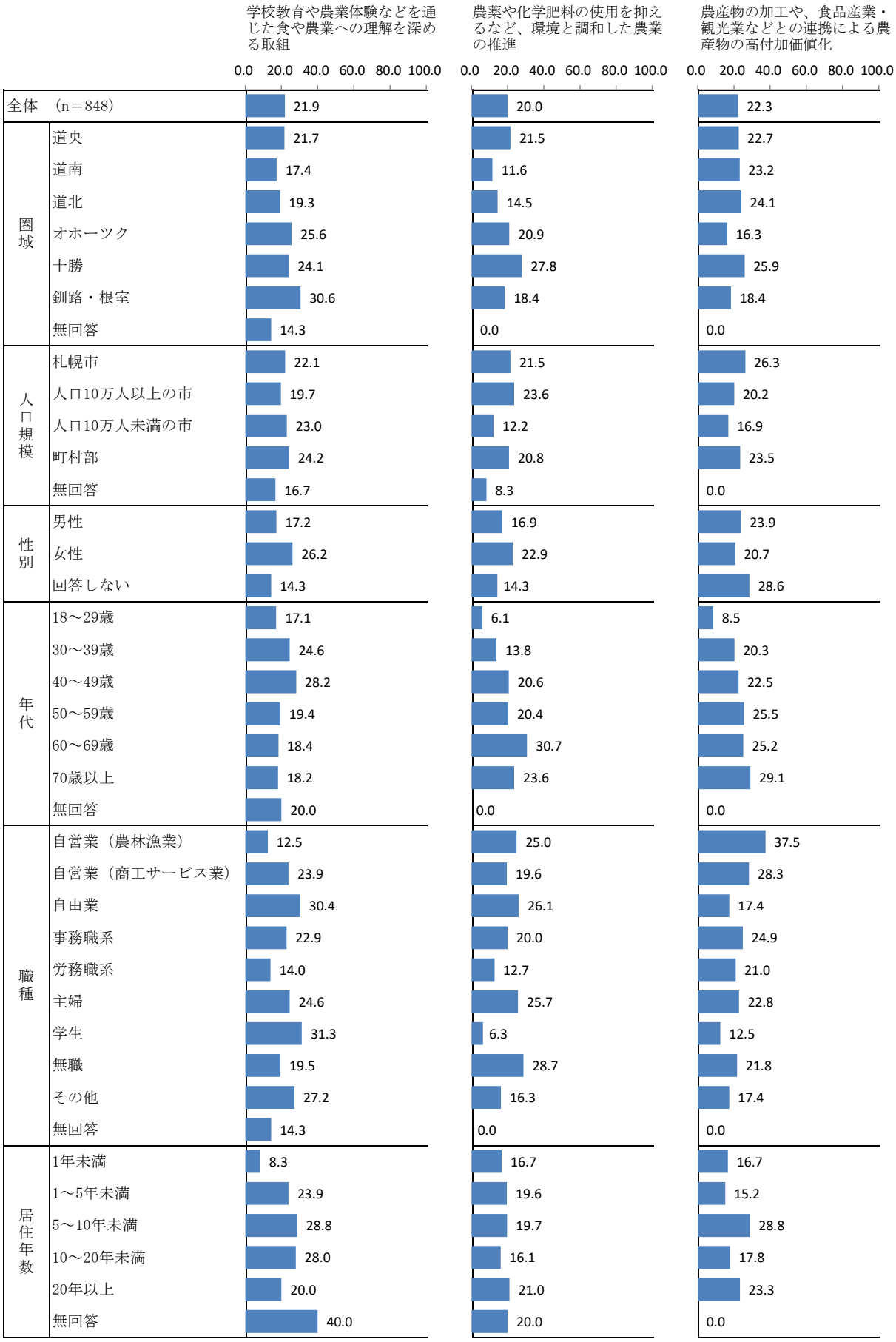
【職種別】

「農家の後継者や新たに農業に参入する経営者の育成・確保」については、労務職系（73.9%）が最も割合が高く、次いで無職（73.6%）となっている。「国による農家経営の安定施策の充実」については、労務職系（44.6%）が最も割合が高く、次いで自由業（34.8%）となっている。

【居住年数別】

「農家の後継者や新たに農業に参入する経営者の育成・確保」については、1～5 年未満（82.6%）が最も割合が高く、次いで 1 年未満（75.0%）となっている。「国による農家経営の安定施策の充実」については、20 年以上（35.6%）が最も割合が高く、次いで 1 年未満と 5～10 年未満が同率（33.3%）となっている。


農家の後継者や新たに農業に参入する経営者の育成・確保
新品種や新技術の開発・普及
国による農家経営の安定施策の充実
0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0
全体 (n=848) 70.5 16.6 33.6
圏域
道央 69.6 16.9 33.1
道南 73.9 20.3 42.0
道北 75.9 12.0 28.9
オホーツク 69.8 23.3 32.6
十勝 68.5 13.0 44.4
釧路・根室 73.5 12.2 26.5
無回答 42.9 28.6 14.3
人口規模
札幌市 69.2 17.5 32.9
人口10万人以上の市 73.1 18.8 35.1
人口10万人未満の市 70.3 12.2 35.8
町村部 73.8 17.4 32.2
無回答 25.0 0.0 16.7
性別
男性 71.8 20.2 34.9
女性 70.1 13.2 32.7
回答しない 57.1 28.6 28.6
年代
18～29歳 69.5 15.9 32.9
30～39歳 67.4 10.9 37.0
40～49歳 68.4 14.4 28.2
50～59歳 70.9 16.8 37.2
60～69歳 73.0 19.6 31.9
70歳以上 81.8 30.9 41.8
無回答 40.0 20.0 0.0
職種
自営業（農林漁業） 62.5 25.0 50.0
自営業（商工サービス業） 71.7 8.7 30.4
自由業 65.2 17.4 34.8
事務職系 73.5 20.0 29.4
労務職系 73.9 14.6 44.6
主婦 71.3 12.0 34.1
学生 56.3 12.5 31.3
無職 73.6 24.1 29.9
その他 57.6 16.3 29.3
無回答 57.1 14.3 28.6
居住年数
1年未満 75.0 25.0 33.3
1～5年未満 82.6 17.4 30.4
5～10年未満 68.2 13.6 33.3
10～20年未満 71.2 13.6 26.3
20年以上 70.0 17.5 35.6
無回答 20.0 0.0 0.0


学校教育や農業体験などを通じた食や農業への理解を深める取組
農薬や化学肥料の使用を抑えるなど、環境と調和した農業の推進
農産物の加工や、食品産業・観光業などとの連携による農産物の高付加価値化
0.0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0
全体 (n=848) 21.9 20.0 22.3
圏域
道央 21.7 21.5 22.7
道南 17.4 11.6 23.2
道北 19.3 14.5 24.1
オホーツク 25.6 20.9 16.3
十勝 24.1 27.8 25.9
釧路・根室 30.6 18.4 18.4
無回答 14.3 0.0 0.0
人口規模
札幌市 22.1 21.5 26.3
人口10万人以上の市 19.7 23.6 20.2
人口10万人未満の市 23.0 12.2 16.9
町村部 24.2 20.8 23.5
無回答 16.7 8.3 0.0
性別
男性 17.2 16.9 23.9
女性 26.2 22.9 20.7
回答しない 14.3 14.3 28.6
年代
18～29歳 17.1 6.1 8.5
30～39歳 24.6 13.8 20.3
40～49歳 28.2 20.6 22.5
50～59歳 19.4 20.4 25.5
60～69歳 18.4 30.7 25.2
70歳以上 18.2 23.6 29.1
無回答 20.0 0.0 0.0
職種
自営業（農林漁業） 12.5 25.0 37.5
自営業（商工サービス業） 23.9 19.6 28.3
自由業 30.4 26.1 17.4
事務職系 22.9 20.0 24.9
労務職系 14.0 12.7 21.0
主婦 24.6 25.7 22.8
学生 31.3 6.3 12.5
無職 19.5 28.7 21.8
その他 27.2 16.3 17.4
無回答 14.3 0.0 0.0
居住年数
1年未満 8.3 16.7 16.7
1～5年未満 23.9 19.6 15.2
5～10年未満 28.8 19.7 28.8
10～20年未満 28.0 16.1 17.8
20年以上 20.0 21.0 23.3
無回答 40.0 20.0 0.0

		道産農産物・食品の国内外の市場に向けた販路拡大	就業条件の整備などによる誰もが働きやすい環境づくり	新たな人材の確保や経済効果などが見込まれる都市住民との交流促進
全体	(n=848)	15.6	26.8	11.4
圏域	道央	17.5	27.3	11.8
	道南	17.4	29.0	14.5
	道北	10.8	24.1	13.3
	オホーツク	11.6	18.6	4.7
	十勝	9.3	22.2	5.6
	釧路・根室	12.2	34.7	12.2
	無回答	0.0	28.6	14.3
人口規模	札幌市	19.6	27.5	10.9
	人口10万人以上の市	13.0	27.9	13.0
	人口10万人未満の市	16.2	24.3	13.5
	町村部	10.7	27.5	8.7
	無回答	0.0	8.3	8.3
性別	男性	19.9	26.6	9.1
	女性	12.1	27.0	13.4
	回答しない	14.3	23.8	9.5
年代	18～29歳	13.4	34.1	11.0
	30～39歳	17.4	28.3	14.5
	40～49歳	12.4	25.8	12.0
	50～59歳	15.8	29.6	9.2
	60～69歳	17.2	23.9	12.3
	70歳以上	21.8	12.7	7.3
	無回答	0.0	40.0	20.0
職種	自営業（農林漁業）	12.5	0.0	0.0
	自営業（商工サービス業）	8.7	30.4	6.5
	自由業	8.7	34.8	34.8
	事務職系	18.8	25.3	10.6
	労務職系	14.6	31.8	13.4
	主婦	13.8	26.3	9.0
	学生	18.8	43.8	6.3
	無職	14.9	16.1	9.2
	その他	18.5	28.3	15.2
	無回答	0.0	28.6	14.3
居住年数	1年未満	25.0	25.0	8.3
	1～5年未満	10.9	32.6	10.9
	5～10年未満	10.6	36.4	16.7
	10～20年未満	20.3	19.5	14.4
	20年以上	15.5	26.8	10.3
	無回答	0.0	20.0	20.0

		わからない	その他	無回答
全体	(n=848)	7.7	2.1	1.4
圏域	道央	7.2	2.4	1.1
	道南	2.9	1.4	1.4
	道北	10.8	1.2	2.4
	オホーツク	9.3	4.7	2.3
	十勝	5.6	1.9	1.9
	釧路・根室	12.2	0.0	0.0
	無回答	28.6	0.0	14.3
人口規模	札幌市	6.9	2.1	1.2
	人口10万人以上の市	6.7	0.5	1.4
	人口10万人未満の市	11.5	2.7	0.0
	町村部	4.0	3.4	2.7
	無回答	41.7	8.3	8.3
性別	男性	6.5	2.4	2.2
	女性	8.4	1.8	0.7
	回答しない	14.3	4.8	4.8
年代	18～29歳	15.9	0.0	1.2
	30～39歳	10.9	2.9	0.0
	40～49歳	8.6	2.4	1.0
	50～59歳	5.1	3.6	0.0
	60～69歳	4.3	0.6	4.3
	70歳以上	1.8	1.8	1.8
	無回答	20.0	0.0	20.0
職種	自営業（農林漁業）	12.5	0.0	0.0
	自営業（商工サービス業）	6.5	4.3	4.3
	自由業	4.3	0.0	0.0
	事務職系	4.5	2.4	1.2
	労務職系	8.9	3.2	0.6
	主婦	8.4	1.8	0.0
	学生	18.8	0.0	6.3
	無職	5.7	0.0	3.4
	その他	13.0	2.2	1.1
	無回答	14.3	0.0	14.3
居住年数	1年未満	16.7	0.0	0.0
	1～5年未満	6.5	0.0	0.0
	5～10年未満	7.6	1.5	1.5
	10～20年未満	11.0	1.7	0.8
	20年以上	7.0	2.3	1.5
	無回答	0.0	20.0	20.0

「農業・農村の振興について」の調査を終えて

今回の調査では、道民の本道農業・農村に対するイメージや魅力のほか、農業・農村との関わりや将来に向けた振興策について意見を求めた。

本道農業・農村に対して回答者の 74.4%が良いイメージを抱いており、道産農産物に対する「おいしさ」(68.0%)や「新鮮さ」(58.6%)、「安全性の高さ」(49.3%)の評価が高く、5年前に行った調査と比べて「ブランド力」(28.3%)の評価が上がった。また、洪水防止などの「農業・農村の多面的機能」について重要性が広く理解されていた。

一方、農業・農村との関わりについては、「あまり関わりがない（年1～2回程度）」(36.8%)、「まったく関わりがない」(24.6%)が多かったものの、今後の関わりについては、「道産農産物を積極的に購入したい」(76.8%)のほか、「農村を訪れ、農家民宿やファームレストランを利用したい」(29.6%)など、食を通じた交流への興味が高かった。

将来に向けた振興策では、「農業の後継者や新たに農業に参入する経営者の育成・確保」(70.5%)のほか、「就業条件の整備などによる誰もが働きやすい環境づくり」(26.8%)や「学校教育や農業体験などを通じた食や農業への理解を深める取組」(21.9%)などが大切であるとの回答が得られた。

今回の調査結果は、今年度策定する「第6期北海道農業・農村振興推進計画」や、この計画に基づいて実施する農業施策の検討に活用していく。

（農政部農政課）